

< 目次 >

- 1 【教育振興】「ミラーニューロン」って？
 - 2 【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録
 - 3 【編集後記】あつしのひとりごと
-

1 【教育振興】「ミラーニューロン」って？

テレビのグルメ番組で、リポーターがおいしそうに箸を運び食べながら、「まいう～」と言っている姿を見ていると、私たちの脳も同じように箸を運び、食べたい気持ちになってきます。

相手が何かの動作をしている様子を見ているだけで、自分の脳にも相手と同じ動作をしているときと同じ脳細胞（ニューロン）の活動が見られます。このような脳のメカニズムを「ミラーニューロン」と言うのだそうです。

ミラーとは「鏡」のこと。つまり、自分の目の前にいる人の言動や感情までも脳は映しとる能力を持ち、この「ミラーニューロン」のおかげで、人は「見て覚える」ということができるのです。

子どもが足でドアを開ける姿を見て、「行儀が悪いでしょ！ちゃんと手で開けなさい」と注意したら、「お母さんだってやってるじゃない！」と言い返されてしまう……。似たような経験をしたことはありませんか。

“子は、親の背中を見て育つ”と言われますが、これは脳科学としても根拠のある言葉で、子どもは「ミラーニューロン」を通して、知らず知らずうちに親の姿を真似しているのです。

自分のことは棚にあげ、「ちゃんと勉強しなさい」とか「本を読みなさい」とつい言ってしまうが、「ミラーニューロン」のことを考えれば、お父さんやお母さんが勉強する姿や本を読む姿を見せて、「一緒にやろう」と誘ったほうが効果があるのだと思います。

お父さんやお母さんが、「勉強は苦痛で大変なもの」とか「読書は面倒くさい」と思っているのであれば、子どもはその思いを映しとり、勉強や読書を嫌が

ってしまいます。まずは、「勉強や読書は、いろんなことを知ることができて楽しい」って思うところから始めませんか。

2 【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録

(教ちゃん)「読書週間」も、明日でおしまいね。

(振ちゃん)各学校や地域では、期間中にいろんな取組をしたんだろうね。

(教ちゃん)そうね。平成21・22年度には、このメールマガジンで各学校や実践区の「家庭学習」や「読書活動」の取組事例を紹介してきたけど、その「読書活動」の事例も参考にしてもらえたかしら。

事例集⇒ http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/indexk_zj.html

(振ちゃん)「読書週間」は、本を手にするきっかけづくり。これで終わりじゃなくて、これからの取組が大切だよ。

(教ちゃん)10月15日に東京で開催された『学校図書館げんきフォーラム』の基調講演で、明治大学の斎藤孝先生は、「読書マラソンのように、何ページ読んだかを記録させると読むようになる」、「1か月で30冊以上読む子どもが出てくると、他の子も頑張る」と言っていたわ。

(振ちゃん)きっかけをつくってあげること。それと、何ページ読んだかをグラフにして記録するなど、目標が目に見えるようにすることが大切なんだね。

(教ちゃん)斎藤先生は、年間目標読書量は200冊程度にすればいいとも言っていたわ。多いと思うかもしれないけれど、極端に多くすることが大切なんだって。

(振ちゃん)芦田愛菜ちゃんの2学期の読書目標冊数は110冊だよ。

(教ちゃん)読んだ本を紹介し合う取組もいいわね。本屋さんに行くと、本を紹介する宣伝文句を書いた紙(ポップ)があるじゃない。

(振ちゃん)あるある。今、本屋さんでは、ポップづくりが重要な仕事になっているんだって。友達が考えた本の紹介文を見ると、読んでみたくなるよね。

(教ちゃん)学校図書室や公民館の本棚に、ポップがついた本がたくさんあって素敵ね。

(振ちゃん)ポップづくりから始めて、「ポップ・ステップ・ジャンプ」だ!

3 【編集後記】あつしのひとりごと

「読書週間」が始まる前に、読売新聞が全国世論調査を実施しました。好きな作家・著者ランキングでは、昨年まで9年連続1位だった司馬遼太郎さんが、2位となり、今年の1位を獲得したのは東野圭吾さんでした。

「流星の絆」、「白夜行」、「秘密」、「探偵ガリレオ」といった多くの人気作品が映画化、テレビドラマ化されており、原作の本も何百万部も売れているのですから、時の人には違いありません。

また、同調査では、「子どもの頃に本を読む習慣を身につけることが大切だ」と思う人が96%に達しており、そのために必要なこととして「幼い時から読み聞かせをする」の71%が最も多く、次いで「親が本を読む姿を見せる」が46%という結果でした。

この調査結果を待つまでもなく、乳児とその保護者へのブックスタート、幼児・小学生への読み聞かせや学校での朝読書、親も一緒に読む親子読書の推進など、私たちがすでに取り組んでいることを進めていけばよいのですよ・・・ね。

★メルマガの感想や日頃思っていること、意見・要望をお寄せください。

⇒ 21kyoushin@gmail.com

⇒ 第57号は、11月22日（火）配信です。

★バックナンバー（第1～55号）はこちら。

⇒ http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/indexk_bn.html

★全県共通課題（家庭学習と読書推進）の実践事例はこちら。

⇒ http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/indexk_zj.html

★メルマガで紹介しました資料はこちら。

⇒ http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/indexk_s.html

~~~~~配信元~~~~~

\*岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課

\*発行人：教育振興運動担当 佐藤敦士（さとう あつし）

転送はご自由です。どんどん転送してください。口コミは、あなたから始まります。「みんなでやろう！」という雰囲気あなたから作りだしてください。

~~~~~